

教育事務所だより

令和7年5月16日発行

子どもが自然と動き出す、専門職らしい仕事をめざして

所長 徳永 勝俊



「ベタ踏み坂って何度だと思う？」

私の40代のころの算数科の授業実践です。写真を見せると「知ってる！CM で出たところだ！」「行ったことがある」「わたしも」と。そして、江島大橋の坂の角度を予想させました。子どもからは、「30度？」「45度！」…しまいには「90度～」とまでつぶやく子がいて、「実は5度もないんよ」というと「ウソだ～」と信じてくれませんでした。その後、どうしても調べたい、どうやって調べようかと動き出す子がいたことを今でも覚えています。これは6年生の拡大図・縮図の導入です。私はこのころ、算数に苦手意識の強い子どもが、自然と考え出す授業ができないかと必死でした。今の私の教育観の礎になっています。

ご存知の方も多いと思いますが、国語教師の大村はま氏の書籍を久しぶりに読みました。昭和48年の著書「教えるということ」の中にはこう書いてありました。

「書きなさい、しっかり。」というのは、だれでもできますけれども、子どもを書きたい気持ちにさせるというのは、容易ならないことだと思います。それをやるのが教師の仕事ではないでしょうか。まず書くことができるようにして、そこから自然に「書く」という活動に流れていくようにする、—それが専門職らしい仕事であると思います。

参考：大村はま(1973)教えるということ(共文社)

時代を超えても変わらない、日々の授業に対する心構えとして大切なことではないでしょうか。

新年度が始まりました。教員不足でご迷惑をおかけしている中、子どもと向き合って教育活動を進めてくださっていることに感謝申し上げます。また、管理職の皆様におかれましては、様々な教育課題がある中で、日々献身的に取り組んでおられる教職員の皆様に組織的に支えてくださっていることに重ねて感謝申し上げます。日々の授業は専門職として個々の教師の腕の見せ所です。一方で、複雑化、多様化する課題を乗り越えるためには、教員、養護教諭、栄養教諭、学校事務職員…それぞれの専門性の集結が必要です。松江教育事務所としても、教職員が専門性を含めた「よさ」が発揮できるよう、教職員を、学校を、市教育委員会を様々な形で応援していく所存です。今年度も引き続きよろしくお願いします。

松江教育事務所の今年度のスローガンを「教職員の『よさ』が発揮できる学校を支える教育事務所」と掲げ、我々も献身的に取り組んでおられる教職員を支え、学校を取り巻く環境の整備、教職員の働き方改革の推進に向けて懸命に取り組みます。5月下旬からは、各学校をまわらせていただき、運営方針や教職員の状況等についてうかがいたいと思っています。今年度は、所長、調整監、企画幹の3名(合わせて市教委からも1名同行)でまわることで、学校の実情の把握と今後の学校への支援に丁寧につなげていこうと思います。お忙しいところお手数をおかけしますが、ご対応の方よろしくお願いします。

学校教育スタッフの令和7年度の取組方針 ～支え、ともに歩む～

学校教育スタッフ企画幹 植田 道

今年度、県の指導主事体制の見直しを受け、松江教育事務所学校教育スタッフ3名、松江市派遣 2 名、安来市派遣 2 名、計 7 名の指導主事で、島根県教育センター、教育庁各課等の指導主事と連携して学校や先生方を支えます。以前に比べ、小所帯となりましたが、「教職員の『よさ』が発揮できる学校を支える教育事務所」を合言葉に、次の3つを基本姿勢として日々の業務に取り組んでいます。

- 1 傾聴の姿勢を基本としたあたたか(暖か、温か)な学校支援(寄り添う)
- 2 市教委・本庁と連携した迅速かつ的確な学校等への対応(つながる、つなげる)
- 3 新しい情報の収集、教材研究、研修を通じた自己研鑽(学び続ける)

教育現場の最前線にある学校や先生方の、「やろう」とするお気持ちにできるだけお応えできるよう、共に考え、歩んでいく姿勢を大切にします。学力育成・生徒指導・特別支援教育・社会教育のスタッフが一堂にいる職場の強みを生かし、総合的・継続的な支援を行っていきます。

体制の引き続きの見直しにより、教育事務所の役割を改めて考えています。これまで以上に学校や先生方との“つながり”を大切に、支援の形はどうあるべきかを再確認しながら、先生方とともに歩む学校教育スタッフを目指し、この1年間、指導主事一同で取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いします。



生徒指導主任主事 企画幹 特別支援教育支援主任教員
若槻 堯 植田 道 秦 美沙江
安来市派遣(生徒指導) 松江市派遣(特別支援教育) 松江市派遣(生徒指導)
竹田 政博 青砥 玉枝 梅田 英樹 名目 良美穂

社会教育スタッフ ～「未来に対して主体性をもって生きる人」の育成 ～

社会教育スタッフ企画幹 山田 祐司

本県では、他の地域に誇れる島根の良さや魅力である「人のつながり、あたたかさ」を「誰もが、誰かの、たからもの。」として発信しています。地域で「人のつながり、あたたかさ」を感じたり、各学校で行われている地域の「ひと・もの・こと」を生かしたふるさと教育を実施したりすることで、子どもたちの「自分は一人の人間として大切にされている」という自己存在感、自己肯定感が育まれます。そして、この経験を積み重ねることで子どもたちは、「自分は誰かのたからもの」「誰もが自分のたからもの」だと感じ、自己実現を図ったり、地域課題に向き合ったりする意識を持った「未来に対して主体性をもって生きる人」の育成につながると考えています。私たち社会教育スタッフは、この目標を実現するために以下2点のことに重点を置き、市・学校区の取組を支援します。

- 1 学校・家庭・地域が連携・協働する魅力ある教育環境の実現
 - 学校・家庭・地域が目標を共有し、地域総がかりで子どもの成長を支える活動の充実(学校運営協議会・地域学校協働活動の充実)
 - 学校・家庭・地域をつなぐコーディネーター等の人材発掘・育成
 - 親学プログラム等参加型学習を活用した大人の学び、交流の場の充実
 - 週末や放課後等の子どもの居場所づくりと体験活動の充実
- 2 地域を担う人づくりの推進
 - 子どもが主体的に地域活動に参画し、地域とつながり続ける取組
 - 人づくりの拠点となる公民館及び交流センター等の機能強化や活動の充実



人権教育推進員 企画幹
遠山 茂樹 山田 祐司
安来市派遣 松江市派遣
高尾 康弘 川神 拓人

重点内容1、2について詳しく聞きたい・相談したいことなどがありましたら、気軽に連絡をください。各学校及び社会教育関係者(公民館及び交流センター職員、PTA 関係者等)を全力で支援していきます。

令和7年度 松江教育事務所 所掌分掌

所長 徳永 勝俊  (0852)32-5765	調整監 新前島美佐江  (0852)32-5766	教職員の人事や服務に 関すること
--	--	---------------------

【総務課の主な業務】 (0852)32-5777

課長 新寺本 寛	○所内及び課内事務の総括 ○小・中学校の旅費の配分	企画幹 落部 加苗	○会計年度任用職員の任用、報酬支給 ○旅費(松三 G、湖南 G、鹿島・島根 G、東出雲 G、安二 G)
主任 松坂 秀治	○旅費総括(松四 G、湖東・八雲 G、安一 G、広瀬 G)	主任主事 景山 育美	○教職員の給与関係 ○学校事務職員 ○旅費(松一 G、松二 G、湖北 G、玉湯・宍道 G、安三 G)
主事 新山田みさき	○臨時的任用教職員の給与関係 ○旅費(本庄・美保関・八束 G、伯太 G)	会計年度任用職員 岩谷 優紀	○旅費(松二 G、松三 G、本庄・美保関・八束 G、東出雲 G、安一 G)
会計年度任用職員 室 愛華	○旅費(松一 G、湖南 G、湖北 G、玉湯・宍道 G、広瀬 G)	会計年度任用職員 岡 千琴	○旅費(松四 G、湖東・八雲 G、鹿島・島根 G、安二 G、安三 G、伯太 G)

【学校教育スタッフの主な業務】 (0852)32-5772

指導主事(兼)企画幹 植田 道	○学校教育全般 ○各種研究大会(助言者依頼等) ○経験年数に応じた研修 ○調整監業務補佐	指導主事 (生徒指導専任主事) 新若槻 堯	○生徒指導
指導主事 (特別支援教育支援専任教員) 秦 美沙江	○特別支援教育に係る教員の相談 ☎32-5791		
派遣指導主事【松江市派遣】 名目良 美穂 (生徒指導) 梅田 英樹 (特別支援教育) 派遣指導主事【安来市派遣】 竹田 政博 (生徒指導) 新 青砥 玉枝 (特別支援教育)			○学校訪問指導業務 ○派遣先市町村教育委員会における業務

【社会教育スタッフの主な業務】 (0852)32-5775

社会教育主事(兼)企画幹 新山田 祐司	○社会教育及び生涯学習の振興に関すること	人権教育推進員 新遠山 茂樹	○人権教育の取組推進に関すること
派遣社会教育主事【松江市派遣】 川神 拓人 派遣社会教育主事【安来市派遣】 高尾 康弘			○派遣先市教育委員会における社会教育行政及び生涯学習振興行政に関する業務

令和7年度 松江教育事務所管内 研究指定校等 (R7.5.1 現在)

◆研究指定校事業等 ※ ○国;国指定 ○県;県指定	自治体・指定校等
国令和の日本型学校体育授業構築支援事業 ～テーマ3:多様な武道等指導の充実及び指導体制の強化～	広瀬中
国小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業(AIの活用による英語教育強化事業/AI英語モデル校事業・AI英語活用リーダー事業)	松江市;松江二中、島根中、宍道中、八束学園
県人権教育研究指定校事業(～R8)	持田小
県学びの根っこをぐんぐん伸ばすプロジェクト「学びの基盤に関する調査」 ～深い子どもの理解に基づいた誰もが伸びる授業をめざして～	松江市、安来市
県LDのある子どもの多様な学び推進事業(～R8)	安来市

◆研究発表等	開催期日・指定校等
中・四国小学校体育研究大会(島根大会)	10/24(金)(領域別分科会)【保健(中・高)】安来市 【ゲーム(低・中)】松江市
島根県理科教育研究大会(安来大会)	10/23(木)安来二中、宇賀荘小、南小、 能義小／(提案発表)湖東中
島根県算数・数学教育研究大会(浜田大会)	10/24(金)(提案発表)乃木小、本庄中、 赤江小、山佐小
島根県国語教育研究大会(益田大会)	11/14(金)(提案発表)川津小、玉湯学園
松江市教育研究大会(Bブロック研究大会)	11/7(金)松江二中、美保関中、川津小、美 保関小、川津幼稚園、持田幼稚園
安来市学校人権・同和教育推進連絡協議会ブロック研修会	11/21(金)十神小、11/20(木)安来二中 11/11(火)安来三中、6/27(金)広瀬中 11/28(金)母里小

第2期しまねの学力育成推進プラン～「できた・わかった・やってみよう」を実感できる授業づくり～

「しまね教育振興ビジョン(以下、振興ビジョン)」を受け、「第2期しまねの学力育成推進プラン(以下、プラン)」が策定されました。振興ビジョンが示す3つの「育てたい資質・能力」のうち、本プランでは「学びの中核をなす学力」の育成に関わる取組を具体的に推進することを目的としています。

本プランは「授業づくりの推進」を“柱”に据え、前プランに関わる事業(昨年度まで松江・安来両市で取り組まれた「しまねの学力育成プロジェクト事業」等)の成果も生かして、「『できた・わかった・やってみよう』を実感できる授業づくり」を目指すものです。“柱”にアプローチする5つの目標を設定し、さらに『重点アクション』で具体的な方向性を先生方と共有したいと考えました。

今般策定された本プランを、まずは知るところから。そして『重点アクション』を参考に、各学校の実態に応じた取組が推進されることを期待しています。



↑ EIOS 該当ページ
へ遷移します

ご相談ください！

特別支援教育支援専任教員

小中学校の通常の学級や特別支援学級における“困っていること”や“取り組んでみたいこと”の相談に、迅速・丁寧に応じます。特別支援教育について、先生方と学校を応援するのが「特別支援教育支援専任教員」です。

特別な支援を要する児童生徒の楽しく充実した学校生活のために、先生方と一緒に考えていきたいと思っています。まずはお電話から。

松江教育事務所 特別支援教育支援専任教員
専用電話 0852-32-5791 秦(はだ)

教員サポーター

学級経営、学習指導、生徒指導、保護者や地域、同僚のこと…業務や人間関係といった学校の日常の悩みについて、ご相談ください。

秘密厳守で対応します。匿名相談可。相談者の承諾があれば、関係機関からの支援や助言も受けられます。一人で抱え込まず、気軽にご相談ください。

教職員のための専門の相談員(教員サポーター)

専用電話 090-5323-9212(市町村立学校)

080-9298-2747(県立学校)

メール kyousinsupport@pref.shimane.lg.jp